島原大変肥後迷惑

熊本県立宇土高等学校
y-3（42）班

要旨
1792年に「**島原大変肥後迷惑**」という日本史上最大規模の火山災害が長崎で起こった。島原雲仙岳では地下でのマグマの移動などの火山活動によって発生する「**火山性地震**」が起こり、それにより起こった眉山の崩落によって岩が海に転げ落ち津波が発生し島原や熊本では約1万5000人の犠牲者が出た。宇土市だけでは1200人を超える犠牲者が出ている。

1. 目的

大きな被害を生んだ島原大変肥後迷惑について多くの人に知ってもらい、この災害を伝承し、宇土市の防災へとつなげるため。

2. 方法

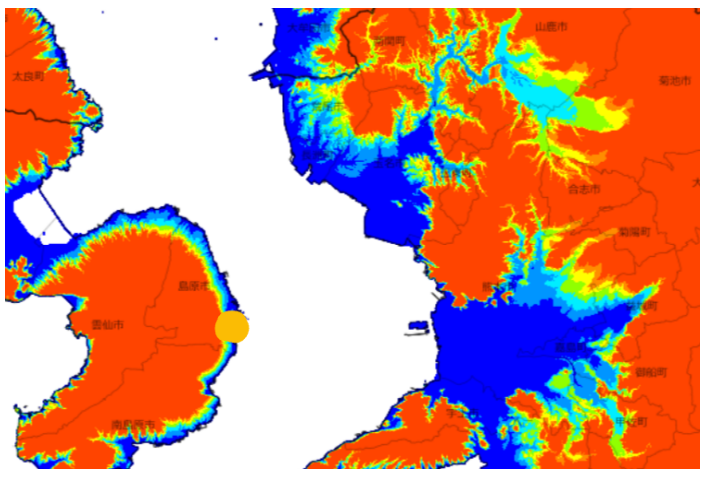
インターネットや書籍を用いて島原大変肥後迷惑での被害を結果で表す。宇土郡と玉名郡でなぜ被害の差が大きいのかを供養碑・地形などを基に明らかにし宇土市の地形の特徴を考える。

3. 結果・考察

被害が大きかった町の死者数・負傷者数・流失家数・供養碑数を示した表

	死者数	負傷者数	流失家	供養碑
宇土郡	1266	891	2252	1
飽田郡	1166			1
玉名郡	2221			4
天草郡	343	707	725	0
島原領	10139	601	3347	13
合計	**15135**	**2199**	**6324**	**19**

・宇土郡と玉名郡で被害の差が生じたのはなぜか。また、宇土市と玉名市の地形にはどのような特徴があるのか。



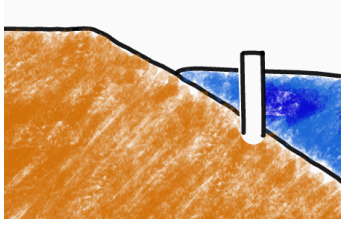
津波の発生源である島原から玉名までの距離と島原から宇土までの距離にあまり大きな差はない。

⬇

【死者】宇土郡　1266人　　玉名郡　2221人
被害に<u>大きな差</u>

なぜ差が生まれたのか？

〈玉名郡〉
・当時玉名郡では**干拓地**を造成中の地域があった。
（※熊本県玉名市「扇崎千人塚供養塔」の伝承内容による）



⇒干拓により人が多く集まっていたことが関係している。

〈宇土郡〉
・大きな被害が出た<u>網田地区・住吉地区</u>
どちらの地区も玉名郡のように農耕地を拡大させるための**干拓が行われていなかった**。
⇒玉名郡よりも被害が小さかったのではないか。

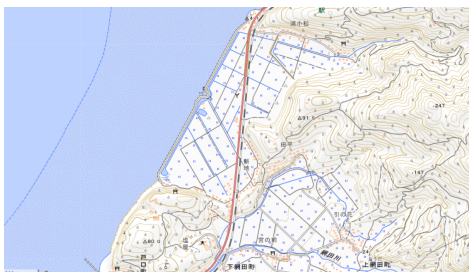
なぜ干拓を行う必要がなかったのか？

⇒宇土市の東側には土地利用ができる広大な低い土地が広がっていたため干拓をして**大幅に農耕地を増やす必要はなかった**からではないか。

・宇土市の市街地が宇土市の東部に位置していた。
⇒宇土市の東側には**土地利用ができる広大な低い土地が広がっていたため**街が栄えたのではないか

〈集落ができている場所の特徴〉
・稲作が盛んである
⇒人々の生活に必要な**水が確保できる**からではないか

↓現在の玉名市　　↓現在の宇土市網田地区



←現在の宇土市住吉地区

この2つの結果から人の暮らしと地形は密接に関係しているということがわかる

4. 感想

情報が少なく今の宇土市で同じ災害が起こったらどのような被害がでるのかを研究することはできなかった。これから研究を深め防災マップを作り、宇土市の防災意識を高めて、災害が起きても被害が少ない安心なまちづくりをしていきたいと思った。

5. 参考文献

https://ja.wikipedia.org/wiki
（ウィキペディア/島原大変肥後迷惑）
https://www.mapple.net/articles/bk/21199/
（まっぷる/島原大変肥後迷惑で受けた被害はいったいどれほどだったのか？）
https://www.gsi.go.jp/
（国土交通省　国土地理院）
https://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/wlib/pdf/010101a.pdf
（島原大変/国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所）